

令和6年度 土佐清水市総合振興計画等検討会議 概要

日 時：令和6年12月6日（金） 9時00分～11時30分

場 所：土佐清水市役所 2階 第一会議室

出席者：別紙のとおり

説明者：農林水産課、観光商工課、企画財政課、健康推進課、こども未来課、生涯学習課

事務局：企画財政課長 横山英幸、企画財政課長補佐 畠中陽史、政策企画係長 中山剛、主事 尾崎智彩

会議概要（要約）

【会議次第】

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 委員自己紹介

4. 議事

第1号議案 第2期土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

（事務局）

基本目標③、施策3：子育て支援の充実に関するKPIについて、当初は「放課後の子どもの居場所づくり（放課後児童クラブ登録児童者数）」の目標値を45人としていたが、令和6年度に条例改正により50人に修正するもの。

第2号議案 令和5年度取組実績及び令和6年度取組状況中間報告

○農林水産課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（間崎委員）

備長炭について、伐採の規制もあり、本市での生産が難しい。原材料の確保が難しく、計画的に行う必要がある。公的な支援が必要であり、事業者と話をして確保できるようにしてほしい。

（岡林委員）

備長炭を製造する方と製造方法を教える方に、市から補助は行っている。

（土居委員）

清水サバはブランド化されていて知名度もあり、観光客に人気の魚であるが、最近の不漁により食べるところが難しくなっているが、清水サバの基準を見直すなど検討してみてはどうか。

また、ふるさと納税の返礼品でもあるトマトだが、今年は不作であった。安定して供給するために品質管理の仕方を検討していく必要がある。

・清水サバの不漁について

(農林水産課長) たてなわで1番につれた魚を「土佐の清水サバ」としてきたが、たてなわにこだわらず、釣った魚を清水サバとするような対応がいるのではないかと考えている。また、海の状況として、温度や流れを把握する調査への支援を検討している。

(岡田委員)

清水サバを目当てに来ているお客様がいるが、清水サバが獲れていない場合はどうするか。

(農林水産課長) 清水サバを超低温で管理し2年保管をするという構想があり、お盆や正月などに提供できる仕組みがつくれるかを協議中である。

・めじかについて

(島谷委員)

下ノ加江のめじかの1本釣り漁がブランドにつながっており、価値があるものと感じている。もっと、原魚確保に力を入れていただきたい。

(川口委員)

漁場探索の支援があるのはありがたいので、続けてほしい。原価が安いという問題があるため、これについて何かの補助がほしい。これにより漁に行きたくてもいけない場面が出てきている。

(農林水産課長)

豊漁期には原価は6月に60円代になっており、操業控えになることも承知しているが、冷凍保管場所の収容量の限度もあるが、買い取り金額も含め土佐清水食品にできるだけ努力してもらうよう伝える。

○観光商工課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

・観光地の駐車場、宿泊に関して

(川口委員)

足摺岬先端の駐車場が少ない。また、土佐清水市に観光に来るとしても、宿泊は四万十市でという人がいることが気がありである。土佐清水市に宿泊してもらうようにすることがさらに必要ではないか。

(観光商工課長)

駐車場に関しては、GWや年末年始などに誘導員、警備員を配置することや、市営駐車場からのシャトルバスを出す対応をおこなっている。新たに駐車場をつくることは物理的スペースの関係から難しいが、検討はしていきたい。

宿泊については、ビジネスの場面でも、本市で仕事がある場合に四万十市で宿泊するという話もきいており、宿泊事業者と検討をしていきたい。

(土居委員)

足摺岬のほとんどが自然公園法の保護地区になっているので、新たに駐車場を設けることは難しいが、個人所有の土地の交渉や、少し離れた駐車場からメインの観光場所に歩く間の道を工夫し、散策ロードとしての活用を検討した方がよい。

・ジオパークについて

(岡田委員)

日本ジオパークの再認定のための審査が来年度あり、他事業者との連携が求められる。

(観光商工課長)

ジオパークは主に活動審査であるので、来年度に向け、地域の資源を生かしていくようすすめたい。

・ふるさと納税について

(大平委員)

返礼品提供業者が配達作業に係る人員不足等の影響で撤退とあるが、具体的に対応策は考えているか。

(観光商工課長)

小規模事業者や高齢者が多く、配達の手続きをアナログで行っていることが多い。省力化のため、複数の会社の一本化など、今後対策を検討したい。

また、送り状を準備が難しい人には、観光協会で送り状を用意するなど対応していく。

・移動手段について

(間崎委員)

夜間タクシーがないので、土佐清水市に宿泊しづらい。交通計画にも具体的な解決策がないが、早急な対応が必要と考える。

(企画財政課長)

タクシーは18時まで運行している。事業者に補助を行うので運行をお願いできないかと依頼した経過はあるが、現状としては難しいと考えている。ライドシェアの検討など、交通協議会を通して考えていきたい。

・インバウンドについて

(土居委員)

節納屋さんの協力で、インバウンド向けのものを開発していくのも面白いのではないか。

(久保委員長)

「足摺きらり」でも、インバウンドの人が多くいた。

(土居委員)

ホテルからシャトルバスを出したこともあり、盛り上がった。

○企画財政課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

・移住について

(岡田委員)

空き家バンクについて、何件の登録があるか。

(企画財政課補佐)

現在27件、ホームページにアップしている。

(川口委員)

住んでいる地区に何人かの移住者がきていることが分かったが、その場合その人たちにも回覧板や広報を配る必要がある。区費も払ってもらう必要があるため、移住してきた際に情報がほしい。

(企画財政課長)

移住者について、現状把握がすべてできているわけではないことと、区費支払い等の強制はできないため、ある程度の情報しか伝えることができない。

(島谷委員)

絶対に結婚しなくてはいけないという時代ではないので、皆が住みやすいまちにしていくことが必要である。LGBTを認めるパートナーシップ・ファミリーシップ登録制度を土佐清水市がしているので、清水の大きなイベントとからめ関係イベントを行うことで、すみやすいまちアピールをしてもいいのではないか。

(企画財政課長)

じんけん課に伝える。農林水産課や観光商工課が大きなイベントを実施しているため、連携について検討していく。

・出会い・結婚支援について

(久保委員長)

毎年出会いを応援するイベントを実施しているが、結婚のきっかけとなる、ならないにかかわらず、仕事以外で人と話さないという人などに、楽しく話せるきっかけをつくりたいと考えている。

○健康推進課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

質問なし

○こども未来課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

(岡田委員)

KPIは目的ではなく目標であるため、達成できていなくても悪いというわけではない。
23ページの子育て世帯への家庭訪問はよい取組であると考える。

(こども未来課長)

利用したい人に利用してもらえる環境をつくっていきたい。

(教育長)

学校の統合が進み、不安を持つ家庭が増えると考えられる。子育てのセーフティネットを検討していく。

○生涯学習課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

(岡田委員)

放課後こども教室は必要であると考える。現場からはどのような声があがっているか。

(生涯学習課長)

利用時間を30分延長したことについて、助かっているという声をもらっている。障がい者の受け入れ等も現在行っている。

(企画財政課長)

28ページの取り組みについて、人数の増減はどのようにになっているか。

(生涯学習課長)

文化会館の利用人数は増えている。体育館はほぼ変化はない。スクラム会員について、声掛けを行い増やしていく努力を行っている。

(島谷委員)

図書館にあまりこどもがいないため、行くきっかけがあってもいいのではと考える。例えば、月に1回でもよいので、公民館に行く前に図書館に行けたらよいのではないか。

(生涯学習課長)

現状を把握して、対応できるか検討していく。

第3号議案 地方創生拠点整備交付金施設整備計画の評価検証について

(農林水産課)

地方創生拠点整備交付金施設整備計画の評価検証について説明を行う。

道の駅「めじかの里」に関する委員評価シートに記入し提出してほしい。

第4号議案 第8次土佐清水市総合振興計画策定に向けた市民アンケートについて

(事務局)

第8次土佐清水市総合振興計画策定に向けた説明を行う。

土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略を実施計画と位置づけ、包括的に運用する。

令和6年度中にはアンケートを中学生・高校生・一般市民と分けて実施する。

5. その他

特になし

【閉会】